

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	1	○
政策	魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	質の高い既成市街地の整備	担当課室長	浅野和彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	学識経験者や市民代表等で組織する策定委員会による検討が必要であり、また、市民の意見を反映させるための手法を考慮する必要がある。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市構造	意図(対象をどうするのか)	鎌ヶ谷市の将来像を示し、市民・事業者との協働によるまちづくりを進める。
②事務事業の概要	平成14年度に策定した「都市計画マスタープラン」について、目標年次がおおむね20年後となっていることから、新たな「都市計画マスタープラン」の策定を行うものである。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民アンケート調査を実施し、鎌ヶ谷市の現状と課題の整理を行った。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市民アンケートは完了し、策定部会による検討を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	部会開催数			1回	業務実績
	ii	策定委員会開催数			0回	業務実績
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	0	5,239	金額(千円)	内容	17,779	
国支出金(千円)			5,239	市民アンケート等		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		5,239			17,779	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	学識経験者や市民代表等で組織する策定委員会による検討が必要であり、また、市民の意見を反映させるための手法を考慮する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民アンケートは完了し、策定部会による検討を行ったが、引き続き部会開催、委員会開催、市民の意見を反映するためのパブリックコメント等を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	市民アンケート	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	アンケート完了と課題抽出	10,202	当初	10,202	5,239	R1からの繰越	0
			R1⇒R2繰越	0		現年分	5,239
③達成状況	完了		補正	0			
④未完了・非着手の理由			流用・充当	0			
			令和3年度への繰越額(単位:千円)	4,963			

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。
②①に基づく取組み結果	地権者の協力を得て、国の交付金を活用し、事業用地を取得した。また、関係機関との調整を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	初富駅周辺地区整備事業	意図(対象をどうするのか)	初富駅へのアクセスルートと駅前広場の整備を行う。
②事務事業の概要		都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)		新京成線連続立体交差事業による高架運行が開始となり、アクセスを向上させるため駅前広場の整備を促進する必要がある。		

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果		国の交付金を活用し、事業用地を取得した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	用地取得累計面積(初富)	107	213	317	m ²	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	56.3	-	-	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト		令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)		37,543	21,690	金額(千円)	内容	48,861	
	国支出金(千円)	13,694	10,981	9,650	初富駅前広場整備事業用地購入費	18,059	
	県支出金(千円)	0	0	6,296	物件補償	0	
	市債その他(千円)	20,200	8,000			24,400	
	一般財源(千円)	3,649	2,709			6,402	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また、市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	初富駅周辺地区整備事業における用地取得	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	事業用地を取得	32,612	32,612	当初	32,612	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	未完了	32,612	32,612	補正	0	現年分	21,690
④未完了・非着手の理由	地権者との交渉に時間を要したため。			流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				9,151	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	近隣商業拠点整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	北初富駅前広場の整備に関し、関係機関との協議を継続し、整備方針を決定する。また、駅前広場に係る測量及び設計の実施や用地の取得に向けた関係地権者との交渉を継続する。	③令和3年度に取り組む改革・改善内容	北初富駅前広場の整備に関し、関係機関との協議を整え、事業実施に向けた関係地権者等への説明等、事業への理解を得るために交渉を継続する。
②①に基づく取り組み結果	北初富駅前広場の整備に向けた検討設計等の結果を基に、関係機関との協議を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	北初富駅周辺	意図(対象をどうするのか)	新京成線連続立体交差事業に合わせた駅前広場を整備する。
②事務事業の概要	近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区において、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線連続立体交差事業による高架運行が開始となり、アクセスを向上させるため北初富駅前広場整備事業を推進していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	検討結果を基に関係機関との協議を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	事業着手箇所数	1	1	1	箇所	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	56.3	-	-	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	1,958	0	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			0				
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	1,958						

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	北初富駅前広場の整備に向けて、関係機関との協議や関係地権者との交渉を引き続き行い、検討をしていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	北初富駅前広場の整備について、新京成線連続立体交差事業による高架運行が開始されたことから、整備に向け更なる推進が必要となるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	北初富駅前広場における測量及び予備設計	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	整備方針の策定に向けたスケジュールの変更をしたため未実施。	3,600	3,600	当初	3,600	0	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越				
③達成状況	非着手			補正			現年分	0
④未完了・非着手の理由	測量作業等に着手する前に検討事項が生じたため。			流用・充当				
		令和3年度への繰越額(単位:千円)						0